


●ガバナー 今井 高志 ● 会長 西村 幸也 ● 幹事 西尾 和樹 ● コミュニケーション委員長 熊谷 道雄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2072 回 例会 記録

《ガバナー公式訪問例会》

(クラブ協議会)

2018 年 8 月 23 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1504



《会長要件》西村会長



こんにちは。本日はガバナー公式訪問例会です。今井ガバナー、久保田ガバナー補佐、三浦幹事長代理にご来訪いただきました。10 時からの会長・幹事面談、11 時からのクラブ協議会では大変貴重なご意見を頂き、また有意義な意見交換を行うことができたと思います。その後、歩きながらの会話でしたが、今井ガバナーから、「八戸南ロータリーは、とても良いクラブですね」とのお話がありました。理由をお聞きしたところ、「ロータリークラブらしいクラブであること、また活動内容も素晴らしい」とのことで、過分なお言葉ではありませんでしたが決して単なる社交辞令ではないと感じました。

本日得ることが出来た多くのインスピレーションを、是非今後に生かしていきたいと思えます。今井ガバナー、本日は本当にありがとうございました。

《ポールハリスフェロー伝達》



新ポールハリスフェロー西村会員



石橋会員 +6



小原会員 +3



三川会員 +2

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



桜田職業奉仕委員長

《出席報告》原委員長



正会員数 37 名。本日の出席は免除会員 2 名を含む 26 名。出席率は 81% です。

《幹事報告》西尾幹事



・9 月 6 日の会員増強委員会担当例会の場所が決まりました。18 時 30 分、萬鱗で会費 3,000 円です。後ほど出欠を回します。
・ハイライト米山と米山梅吉記念館館報が届いています。

《ニコニコボックス》大橋副委員長

今井高志ガバナー：ニコニコ
三浦地区幹事長代理：ニコニコ
久保田ガバナー補佐：ガバナー、本日はありがとうございます。
西村会長：今井ガバナー、三浦地区幹事長代理、ようこそ八戸南 RC へ。よろしくお祈りします。



西尾幹事：今井ガバナー、ようこそいらっしゃいました。よろしくお祈りします。

黒田会員：今井ガバナー、健康第一で頑張ってください。

野澤会員：今井ガバナーようこそ。

石橋会員：本日はガバナーよろしくお祈り致します。

小原会員：今井ガバナーようこそ、ご指導よろしくお祈りいたします。

長嶺会員：今井ガバナー・三浦地区副幹事様、公式訪問ありがとうございます。歓迎いたします。

熊谷会員：今井ガバナー、ようこそ!!

伊藤会員：今井ガバナー公式訪問ありがとうございます。

吉田立盛会員：今井ガバナー、三浦幹事長代理、ようこそ南 RC へ。

吉田賢治会員：今井ガバナー、三浦幹事長代理、久

保田ガバナー補佐、ようこそ八戸南ロータリークラブへ。今日はよろしくお願ひ致します。

三笠会員：今井ガバナー様、本日はありがとうございます。今後もよろしくお願ひいたします。

本人誕生日：野澤会員

《国際奉仕委員会》吉田委員長



本日米山に西村会長から多額の寄付を頂きました。ありがとうございます。

《ロータリー財団委員会》石橋委員長

本日寄付を頂いた方を紹介します。久保田ガバナー補佐よりベネファクターとして1,000ドル、年次寄付1,000ドル合わせて2,000ドル頂きました。長嶺PGより年次寄付として1,000ドル頂きました。原会員より100ドル、大橋会員より90,000円頂きこれは後でポリオと分けませんが大橋会員は新ポールハリスフェローになります。清川会員より300ドル頂き清川さんも新ポールハリスフェローになります。松田会員より200ドル頂きました。ありがとうございます。



《ご挨拶》久保田ガバナー補佐



ガバナー補佐を拝命いたしまして、例会日が同じ木曜日のクラブが南グループにありますのでホームクラブに久々に顔を出しました。色々ガバナー補佐のお役目をいただいて各クラブを訪問させていただき私も勉強させていただきました、と同時に友達もできまして、何十年ぶりかでお会いしたという方もございました。ありがとうございます。挨拶ということですが今井高志ガバナーのご経歴を簡単にご紹介させていただきます。1953年にお生まれになり弘前大学の理学部をご卒業されています。現在は株式会社日産サテオの代表取締役社長でいらっしゃいます。1996年に弘前ロータリークラブにご入会されています。私がガバナーのお話の中で印象的に感じましたことは、ガバナーというのだいぶ前の話になりますが大変近づきがたくてお話しするのも中々難しいという印象がありましたが大変フランクにお話ししていただき大変有り難かったと思っています。また、ロータリークラブの運営について単年度だけではなく中・長期にわたってあるべき姿を考えておられて私たちに示唆をいただき、ご教示いただくということでございます。ガバナーにおかれましては今後もご健康にご留意されてご活躍をお願いしたいと思います。

《ご挨拶》三浦真介地区幹事長代理

皆さんこんにちは、地区幹事長代理を務めている三浦と申します。私は一昨年度長嶺ガバナーの時にクラブで会長を務めさせていただいたので、ここ八



戸パークホテルには何回も、飽きるくらい通ったという思いがあります。今日も泊りがけでこのように来る事が出来て大変うれいなと思っています。八戸南ロータリークラブさんという創立40周年の時にもお邪魔させていただいて、その時に頂いた記念品の中に入っていたボールペンが非常に書きやすく、今も愛用しております。再来年45周年の時にも是非入れて頂きたいということをお願い申し上げて簡単ですが挨拶とさせていただきます。

《ガバナー講話》今井高志ガバナー

皆様こんにちは、今井でございます。先ほどご紹介がありました弘前ロータリークラブ出身でございまして、ロータリー歴は22、3年になりますがあまり熱心なロータリアンでもなく、地区の出向も少なく実はガバナー補佐もやっていないということでガバナーを仰せつかっています、まだまだ勉強中ということで皆さんと一緒にロータリーを学んでいきたいと思っています。



卓話を始める前に、先ほど何の説明もしないで会長にこれを叩いていただいたのですが、これは2年後に日本にロータリークラブが出来て100周年を迎えるということでございまして、もちろん東京ロータリークラブが出来たということで1920年の10月20日に出来ております。その100周年の記念事業の一環として各地区に金の点鐘を寄贈するという事でいただいております。公式訪問とか地区の行事の時に使ってくださいということで下にプレートがありますがここに県内41クラブの創立順にクラブの名前が彫られていまして、八戸南さん、見えないと思いますが右端の真ん中からちょっと下に彫られています。一番古いのが青森ロータリークラブでございます。

今日はRI会長テーマ、私のスローガン、そして11の地区目標を掲げておりますのでそれを掲げた背景とか現状等々をお話ししたいと思います。まずはRI会長テーマ、BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう、日本語に約してもインスピレーションという英語が出てきて中々わかりづらいという方もありますが、あくまでもロータリアンに向けて発表されたテーマでございます。ロータリー運動をするための切っ掛けとかヒントとか刺激というのは沢山あるよ、人はなんとか人の為に役に立ちたいとか奉仕活動をしたとか良いことをしたいという気持ちがあるのでそういう気持ちを引き出してほしいということです。モチベーションを高める人になってほしい、THE とつくのはそういう人だということでございますので人が持っているロータリー運動をする気持ち、やる気を



引き出してほしい、火をつけてほしいということでございます。まったく別な言い方をしますとチャッカマンになってほしい、カチッと火をつけてほしい、人の心にやる気を引き出してほしい、モチベーションを高める人になってほしいということです。それを踏まえまして地区のスローガンを「ロータリーの素晴らしさを伝えよう」と致しました。ご存知のようにロータリーというのは大変素晴らしい奉仕活動を沢山やっております。青少年の関係とか様々な研修、プログラム等々も持っております。何といたっても皆さん方です、素晴らしい人たちが沢山集まっている団体でございます。そういうロータリーの素晴らしさを色々な状況、場面でどんどん伝えていって同士の仲間を増やしていこうじゃないか、そしてロータリー運動を益々拡大していきたいということでございます。

11 の目標、一つずつ申し上げませんが掲げております。これについてちょっとお話ししたいと思います。まずロータリークラブの数と会員数です、世界では今 36,000 クラブ程でございます。会員数が 1,230,000 人です。4 人でスタートしたロータリークラブですからいぶん増えたのは間違いないのですが、この 20 年近く 120 万人からあんまり増えておりません、ちょっとすると頭打ち、伸び悩みという風な状況になっております。一方日本の方はクラブの数は 2,265 会員数 89,000 人と 90,000 人を切っております。ひところ 13 万人くらい居りましたのでピークから見ると 3 割ほど減っているという現状です。これを踏まえて国際ロータリーでは会員が中々増えていかない、会員年齢も高齢化している、国によってはクラブの数も減っていつている、ロータリーが時代の変化、流れについていけないのでないか、取り残されているのではないかという危機感を持っています。私たち 2830 地区も 2001 年、2002 年辺りは 1,350 人くらい会員が居たのですがだんだん減ってきて 2010 年辺りでは 1,000 人そこそこ位になりました。東日本大震災があった年、当時の小山内ガバナーが地区のスローガン「ミラクル 1200」というのを掲げたのを覚えている方もいらっしゃると思いますが、当時地区の会員数が 1,200 を切れば境界を廃止しなさい、別な言い方をすれば他の地区と合併しなさいと、合併命令が出る、何とかそれは避けたい、1,200 に戻したいという風なことでスローガンを掲げました。その後色々な努力で若干ずつは増えてきており 1,200 になっていましたが今年の 6 月末で 1,190 人と 1,200 を切っている状況です。1,200 の話ですが 2013 年の規定審議会に青森県の提案で 1,200 の基準を 1,100 にしてくださいと提案して通りまして今は 1,100 になっておりますので 1,100 を切らない限り合併しろとは言われませんが、安定した 1,200 そして 1,300 まで戻していきたいなと思っています。グループ別の会員数を見ますと南グループは久保田さんも頑張っておられクラブ数 9、会員数も 300 人近く、女性比率も高く活発にロータリー活動をやって下さっています。中グループは青森市ですが、県庁所在地 30 万都市でクラブが 4 つしかない、会員数も少ない、女性会員の比率は平均より高いです。女性会員の比率で行きますと高いのが

南、一番低いのが東第 1 で 4.7% とそれぞれグループごとに特徴があります。こういうことを踏まえまして地区としてはなんとか会員を増やさなければならぬ、会員増強を図ろうと言うことで各クラブに 1 名以上の増員、そして今の多様性のある方々を集めるということからも 40 歳未満の若者と特に女性を増員してほしいとお願いしています。八戸南さんでは 7 月に 2 名増えたということで目標は達成しておりますけれども、45 周年の 40 人に向けて頑張ってくださいと思っています。

会員は増やさないとはいけませんがもう一つはやめさせない、退会防止です。辞めさせないということが大事で何か手段がないかと考えたのが入会 3 年未満の新人ロータリアンのメイクアップ料を地区で負担しようじゃないかということです。これは新しく入った人の面倒を見るということの一環として先輩なりスポンサーが他のクラブの例会に連れていく、そうしますと他のクラブの良さもわかるし、自分のクラブの良さもわかるし、ロータリーの面白さとか楽しみというものを少し理解していただけるのかなと思いますのでこの制度をどんどん利用してメイクアップしていただきたいなと思っています。当初はグループ内ということにしていたのですが、どこでも良いことにしました。ただしメイクアップ料だけです、交通費や連れて行った人の分は自己負担になります。

ガバナーの任務の一番目にあるのが新しいクラブを作るということです。先ほどの表にありますように中グループが 30 万都市でありながら 4 クラブしかなく 150 人しかいない、浪岡町が青森市になりましたが人口 2 万人の町にロータリークラブがありませんでしたので中グループに所属する浪岡町に新しいクラブを作るとアドバルーンを上げています。ただ、中グループの 4 つのクラブの内大きなクラブは 90 人を超えています、9 人というクラブもありますので、まずそこを何とかしないとイケないのではということもあり、その通りだと思っています。私の考えるロータリーの個人感ですが人数が増えるとクラブが活性化します。もちろん会費が増えることにより更なる奉仕活動が出来ます。それが世間に知られていくことによりロータリーの公共イメージが上がっていきます。ロータリーってそんなことをしているんだったら私もやりたいなという風なことで、何とか会員増強から始めていきたいと思っています。

ロータリーというのは寄付集めの団体なのかといわれることもあります、決して強制的に集めて、それが勝手に知らないところで使われているのではないということをお話ししたいと思います。まず一つの寄付はロータリー財団です。5 月末の古い資料ですが一人当たり 100 ドルを切っていてこの段階では 34 地区中 28 位とけっして上の方ではありません。一番多いところはこの時点で当地区の倍集まっています。下位争いではなく上を目指したいと思っています。例えば 1,000 ドル寄付した時に 3 年後に地区の奉仕活動に使ってくださいと半分の 500 ドルが来ます。その半分の 250 ドルは地区補助金として使ってくださいということですので 1,000 ドル寄付すると 3 年後に 250 ドルが地区補助金として使えるということ

です。地区でもグローバル補助金を使うことがあります。これを使った場合は同額が国際財団活動資金 WF から国際的な奉仕活動に使ってくださいと来ますので、いずれにしても払ったお金がどこか知らないところで使われているのではなく回り回って自分たちが使えるお金として戻ってくるというシステムになっています。私の地区目標の一つとして地区補助金の全クラブ申請というものを掲げております。ところが 3 年前がこの何年かの中で一番金額が少なく、少ない中で全クラブが補助金を申請すると、例えば今まで 10 万円の補助金をもらっていたのが半分の 5 万円にしかならないことになると申し訳ないのでその差額は地区として助成します。八戸南さんにも申請額の全額が来ているはずで、全クラブ申請を掲げましたが締め切りが 3 月末になっており、今年は少し伸ばして 4 月末にしましたがそれでも 41 クラブ中 31 クラブからの申請でした。1 年前から比べますと 26 クラブ申請から 5 クラブ増えましたが全クラブ申請とはいきませんでした。来年は是非全クラブ申請となっていたいただきたいと思っています。

もう一つの寄付が米山です。これは米山奨学生に奨学金を渡すという使われ方をしています。この奨学生には採用枠というのがありまして、まず日本全体の前年度の寄付額で採用枠が決まります。最近だと大体全国で 750 人くらいです。それをどうやって各地区に分けるのかといいますと、個人平均寄付額のウェイトが 30%、寄付金総額 50%、特別寄付者割合 10%、有資格者 10%ということでございます。もちろん地区の人数が多いところは寄付の総額が多くなりますから大きな地区のいわゆる人数の多い地区は採用枠が増えるということでございます。寄付には普通寄付と特別寄付というのがあって普通寄付は大体がクラブで集めた会費の中から一人 2,000 円とか 3,000 円いただいております。個人で払うのが特別寄付ですから特別寄付の割合を増やしていかなければと思います。有資格者というのは対象となる留学生が何人いるかということでございます。実績がどうかといいますと昨年度地区全体で 2.100 万円ほど集まっています。凄い金額だと思えますけれども地区で比較すると一番下となっております。一人当たり頑張れば採用枠も増えると思えますが 9,229 円これは普通寄付も入っていますので特別寄付だけだと 6,500 円くらいで下から 3 番目でございます。現在 2830 地区では 11 名の奨学生をお世話しています。2 年間もらう人もいる関係で採用枠は今 10 名でございます。どうしても会員数が少ないので寄付金総額は大きなところに勝てませんが一人当たりの寄付を頑張れば 10 人の採用枠がもう少し増えるということで特別寄付一人 2 万円というお願いをしています。

国際ロータリーでは最近ローターアクトクラブに非常に興味を持っていて、せっかく作ったのにちゃんと面倒見てこなかったなという思いもあり、将来的にはローターアクトを卒業したらロータリーに入ってもらいたいと、予備軍として考えている面もあるようでございますけれども、今県内に青森、八戸、弘前、五所川原、今年の 4 月にむつに出来まして 5 つのローターアクトクラブが出来ております。県内のバランスを見まして、後、十和田にあればいいな

と思っており、今十和田に何とかローターアクトクラブを作ってくれないかとお願いをしているところです。バリー・ラシン会長からはこの会員数を倍増してくださいとのお願いをされております。今の人数を何とか倍増したいと思えます、八戸ローターアクトは今 6 人ですので何とか候補者推薦いただければと思います。

My ROTARY の登録比率ですか全体では伸び悩んでおりまして平均で 22.4%です。その中で八戸南さんがトップで 50 パーセントをすでに超えております。何とか県の平均で 60%まで今年度中にやっていただきたいとお願いをしております。たぶんいち早く八戸南さんが出来るんじゃないかと思っています。ただ、昨日南部さんに行って何とか八戸南を追い抜いてくださいと、小さいクラブでも頑張っているクラブがあるとしたいので頑張ってくださいと言ってきました。八戸南さんに関しては問題ないと思えますが、今は My ROTARY を活用しないと中々情報を引き出せないし、ロータリー運動が出来ないとまでは言いませんが登録しないと中々前へは進まないという時代だと思えます。

これは、ロータリーに対する世間のイメージです。○ロータリーという名前は聞いたことがあるが何をやっているかわからない。○ライオンズとの違いが分からない。○金持ちのおじさんたちが（女性がいるとは思ってない）道楽で道路のゴミ拾いなんかをしている。私はライオンズとの違いを聞かれた時には、みんなでゴミ拾いをするのがライオンズで、道路にゴミを捨てないように教育するのがロータリーだと答えています。こちらでも清掃活動はやっておりますが、いずれにしてもロータリーはすごくいいことをしているのに PR がへただなとおもっています。ロータリーの公共イメージをもっと向上させなければいけないということで、ロータリーデーでロータリーを PR する場を作っていたいただきたいと、八戸では 10 月 28 日の歩行者天国に共同出店をしてそこでロータリーを PR するということを聞いております。弘前でも 9 月に歩行者天国がありますので、今までバラバラにしていたものを一緒にしてロータリーを PR していきたいと思っています。できれば 10 月 24 日がロータリーデーですが、その日に限らなくてもある特定の日に、グループ内で内容の違う奉仕活動でもいいですから同じ日にやればマスコミにも取り上げてもらえるんじゃないかとお話してきていますので、会長幹事会の時にそういう話もしていただきたいなと思えます。

ロータリーで一番大きな奉仕活動、ロータリーの最優先事項はポリオの撲滅でありまして、これにロータリーが取り組んでいるというのはあまり知られていないかもしれません。いずれにしましても野生株からの発症を 0 にするというので今残されているのはアフガニスタンとナイジェリアとパキスタンですけれどもナイジェリアにつきましては今年の 9 月で丸 2 年発症 0 ということで最後の発症から 3 年間発症しなければ撲滅宣言が出せる、国ごとに地域ごとに撲滅宣言が出せるということでナイジェリアは問題ないのではないかと思います。残されたのはアフガニスタンとパキスタンということでござい

ます。ポリオ撲滅については一番難敵がインドではないかと当初言われていたのですがインドで撲滅できたということが我々の自信にもなっておりますし、最後までやり遂げるんだということになっております。こういうことをもっともっとPRしていかなければと思っています。

戦略計画委員会を作ってくださいということで長嶺さんの辺りからこういう話を地区の方でやっておりますし、八戸南さんについてはきちんとやっていたのでありがたいなと思っております。去年日本で5つ新しいクラブが出来たのですが4つのクラブが合併とか統合とか解散ということで消滅しました。ですから10年後も20年後もただ名前が残るのではなく元気なクラブとして生き残っていくにはどうしたらいいかと、中・長期の計画を立てて頂きたいということでございます。

最後にロータリー賞へのチャレンジをしてくださいということですが、これはロータリー賞を取るとか11の地区目標を達成することが目的ではなくて、チャレンジしていく、その達成へ向けてのプロセス、途中段階が大事だと思っておりますし、ロータリー賞であればどの項目にチャレンジするのかみんな話合っていて決めていっていただく、それに取組むことが元気なクラブづくりにつながるだろうと、是非チャレンジしていただきたいと思っております。今年もロータリーだけでなくローターアクト、インターアクトにもロータリー賞がありますので、是非八戸高校さんへも伝えてチャレンジさせていただきたいと思っております。

これは昨年発表されましたロータリーの目指す姿ロータリービジョン声明です。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、接続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」何とかこういう風になりたいと思っております。ご存知のポールハリスの「ロータリーが私たちにとって、何を意味するにせよ、世界はその業績によってロータリー

を知るのです」ということでございます。よくロータリー談義、ロータリーとは私たちにとって何ぞやとかロータリーは私たちにとってなんだと議論されたりします。ロータリー感というのは私は違っているのかなと思っておりますが、世間はロータリーを何で知るかという活動成果だと言われております。と同時に我々一人一人がロータリーだと思われているのです。ですから自戒を込めて申し上げますけれどもロータリアンたるロータリアンにふさわしい言動をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

最後に BE THE INSPIRATION インスピレーションになろうということでRI会長は会議の時でもインスピレーションはどこにでもあるよと、先ほど会長もおっしゃいましたけれどもロータリー運動をする、そのモチベーションを高める奉仕活動をするきっかけみたいなものは沢山あるということでございます。それを引き出す人になって下さいということでございまして今日のこの卓話皆さん方にとって、また明日からロータリー頑張ろうという気持ちになっていただければ、一つのインスピレーションになったのであればいいなと思っております。いずれにしてもロータリーというのは非常に素晴らしい団体、素晴らしい人たちが集まっている団体でございます。そういう素晴らしさを多くの人に伝えていって、会員を増やすロータリー活動を益々拡大していって、ゆくゆくは世界の平和、世界の人々の幸福につながればいいなと思っておりますのでこれからもご協力お願い致します。

《西村会長》

今井ガバナー本当に有難うございました。ガバナーのおっしゃるようにインスピレーションとは何か、これがインスピレーションなんだというふうに私は今日感じました。本当に今日はありがとうございました。